

手にして 10 秒が勝負! 魅せる広報紙

令和3年度 PTA広報紙の作り方研修会開催



講師 高橋 俊英先生

6月9日(水)高橋 俊英先生を講師に、26名の参加者の皆さんとPTA広報紙の作り方について研修を行いました。

上記の見出しは、高橋先生の講話にて使用されたスライドから抜粋したのですが、先生は、魅せる広報紙作成のポイントとして、

- 新聞や週刊誌に学べ
- 手にして 10 秒が勝負
- 後報紙にするな
- 「学校だより」にしない

○あいさつ文は少なめに ○記事は正確・簡潔に ○登場人物を多く ○見出しを考えよう ○写真で読ませる ○シリーズものを組め の10項目をあげていらっしゃいました。

また、これから期待したい広報紙の姿を

- (1) 広報委員の取材がある紙面づくり⇒PTA 会長、校長あいさつ文等を取材して記事に
- (2) PTA 活動の姿が見える記事と写真⇒生き生きとした動きのある広報紙
- (3) テーマ設定と企画・特集を記事に⇒シリーズなど積極的な企画性やアイディア
- (4) 地域との交流も記事に⇒地域から見た学校の姿や連携等
- (5) 読み応えのある広報紙⇒見出し・本文・写真で、読みやすい紙面レイアウトの工夫のようにお話しされていました。

今回は、前半に講話、後半に実技(他PTAの広報紙から、その良さを学び、付箋を使い見る視点見つけ出す。)を行いました。



他 P T A 広報紙から良さの発見



付箋で情報の共有

参加者の皆さんの付箋へのさまざまな Memo をのぞいてみましょう。(抜粋)

【目的は?】

- 活力 「つながり」を意識できる内容は皆を元気にする。
- 活力 PTA役員にすすんでなってみたくて思ってもらえる記事をつくりたい。

○ 学校と家庭・地域を結ぶかけ橋になる。他

【企画・企画会議は？】

○ 誰もが目を通したいと思うように、わかりやすく。

○ テーマと企画特集(1年間通しての企画など)

○ チームワーク はじめて会った人たちですが、一生の友達になれるよう心から楽しみたい。

○ 役割分担を明確にしてお互いにフォローしあう。

○ チームワークを深める。情報の共有, 学年を超えて委員全体でコミュニケーションをとりたい。

○ チームワークをととても大切にしています。チームワークが良いと役割分担, そして情報共有がスムーズです。なり手の少ない広報委員ですので, 1年間楽しく充実した毎日を, 子どもに負けない笑顔, 逆に子ども達に伝えることは必要だと思っています。他

【目指す姿？】

○ 取材がある紙面

○ PTA活動の姿をわかりやすく伝える。

○ すみからすみまで読んでもらえるワクワクする広報紙

○ 活動が見える・地域との交流

○ 数ヶ月後, 数年後, 数十年後にでも, 手に取って読み返したくなる広報紙

○ テーマ設定と企画特集を記事に

○ 目を引くような読み応えのある広報紙

○ PTA活動の姿が見える記事と写真

○ この地域に住んで楽しい, よかったと感じる広報紙

○ PTA会員がふだん見えない活動をみせる。

○ 次の号が楽しみになるよう工夫したい。

○ PTA・学校の活動が見える記事

○ 地域との交流

○ インパクトのある記事・見出しで楽しく読み進められる広報紙を目指す。

○ PTA活動の姿が見える記事と写真, 活動に積極的でない人にも興味をもってもらえたらよい。

○ 働いている人が多いので, 見出しで「何を伝えたいのか」短くポイントを絞る。

○ PTA活動の姿が見える記事 笑顔, 先生の協力している姿, 地域の方の思い・・・など

○ 見て読んで楽しいもの

○ 読み応えのある広報紙 子どもたちの笑顔が全て。

○ PTA活動を記事にし, 「負担」のイメージを変えていきたい。地域との交流の記事, 父親の声やエッセイなども・・・。

○ 楽しくPTA活動を紹介し, 参加してくれるPTA役員・委員を増やしたい。情報を共有できる広報紙を目指したい。

○ コロナ禍で見えない学校の様子を知ってもらうための手段の1つとする。

○ 省エネで最大の効果

○ 見やすく

※ 当日研修会にて先生が使用された資料は, 下記からお入りください。